

議員と語ろう会 関連意見(テーマ:太陽光発電について)

	意見	意見要旨
調査	外資系の会社が那珂市に入ってませんか。	外資系事業者、外国籍代表者の数:9事業者43か所 【内訳】 外資系事業者 : 2事業者19か所 代表者外国籍事業者 : 7事業者24か所
	静地区(アフターフィット)で会社が辞めたあとの、パネル設置がしてある市道の所をどうするのか。	道路として復元予定。
	届出ではここ5年間で何基あり、太陽光設置前の地目は。また耕作放棄地はどのくらいありますか。	下記参照

過去5年間の届出
(事業概要書)件数
令和5年9月14日現在

年度	件数
R1	67
R2	73
R3	65
R4	20
R5	12
合計	237

市内太陽光施設の数：314か所

太陽光設置前の地目と
その割合

台帳地目	割合(%)
宅地	2.1
田	2
畑	24.8
山林	60.1
原野	2.7
雑種地	8.3
計	100

「耕作放棄地」とは

農林業センサスにおいて、「以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け(栽培)せず、この数年の間に再び作付け(栽培)する考えのない土地」とされ、農家等の意思に基づき調査把握したものです。(統計上の用語)
2015年に農林業センサスで調査実施したが2020年の農林業センサスから調査は廃止。

2015年実施の農林業センサスの結果

那珂市内の耕作放棄地:734ha

議員と語ろう会 関連意見(テーマ:太陽光発電について)

	意見
執行部 へ伝えた 意見	条例制定を考えてほしい。(抑制区域・罰則・住民説明会・廃棄処分などについても条例の中に検討してほしい)
	現状の申請制度の見直しをし、許可制度になるよう条例を制定した方が良い。
	自宅の側に作らない、厳しい条例を作るべき。
	条例の内容について、排水の件や伐採の件を明確に入れてほしい。
	景観を保持して、森林の保全を考えてほしい。
	建築上の規制や擁壁、排水等をしっかり対応してほしい。
	設置場所によってはパネルの下に、段ボールなどがそのまま放置されているため、景観が悪い。また、草が刈られていない。
	排水路が草でたまって困っている。境界ぎりぎりまで設置しているため。
	家庭用の蓄電池の補助をしてほしい。

議員と語ろう会 関連意見(テーマ:太陽光発電について)

	意見
その他 いただいた 意見	まずは、条例を制定し変更等があればその都度改正していくことが重要だと思う。
	条例を作るには、細かい事をしっかり勉強して、情報収集するべき。
	太陽光パネル設置について反対である。廃棄処分がどうなっていくのか環境を考えてほしい。
	調整池があるところは良いが、ほとんどのところはないので、大雨の時など心配。
	調整池があふれる危険がある。
	県で条例を策定してくれれば、各自治体でこんな問題が起きないのではないか。後台地区では太陽光パネルの設置に伴い生態系が変わり自然が壊されているのが問題。
	小さい土地を利用して設置する業者が増えてきている。
	設置に伴い、井戸水が枯れたなど自然に優しいエネルギーではない。
	設置に伴い、電波障害が増えてきた。
	対応年数や事業者が倒産したりしたらどうするのか。また東京の業者が多く何かあっても責任がとれないのではないのか。
	森林等の伐採により治水が悪くなり、排水も悪くなっている現状も考えてほしい。
	街並みの環境が壊れる。
	里山の景観を那珂市に。
レアメタルが排出してくる可能性があり危険ではないか。	
地域によって何かトラブルや苦情はありませんか。	

その他 いただいた 意見	笠間市で山が崩れて保証がもらえない事案があった。那珂市ではしっかり考えてほしい。
	市のチェックをこれからしっかりしてほしい。
	水の問題で谷津川があり、人命に関わることとなります。田んぼダムの計画もあります。
	経年劣化に伴い、新たな設備投資が心配なのと空き家と同じようにならないのかが懸念される。
	地権者が現状を維持していくのが大変なのはわかるが考えてほしい。
	パネルの設置は反対です。廃棄処分などこれから子ども達に不安を与える
	一番は、人の命をもっと考えてください。